国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

平成２８年２月２９日１６：００解禁
北陸信越運輸局・北陸地方整備局

「訪日外国人旅行者数 2000 万人の受入に向けた北陸信越ブロック連絡会」における取組成果について

訪日外国人旅行者数 2000 万人に向けて、訪日外国人旅行者を円滑に受け入れることができるよう、地域ごとに現状と課題を把握し、必要な手立てを迅速に講じていくことを目的として、平成 27 年 3 月に「訪日外国人旅行者数 2000 万人の受入に向けた北陸信越ブロック連絡会」を設立しました。

今般、平成 27 年 12 月 21 日に開催した北陸信越ブロック連絡会では、関係者及び関係機関による課題の取組状況、改善結果について、とりまとめを行いました。

その中から、解決した課題又は年度内に解決の目処がたっている課題は以下のとおりです。（詳細は別添を参照）

なお、平成 28 年度においても、課題解決に向けて、引き続き取り組んでまいります。

※構成員は、国土交通省の地方関係機関（運輸局、整備局、航空局）、北陸信越５県、政令市、観光関係団体、交通関係団体、旅行関係団体、宿泊関係団体等。

○貸切バス確保に係る取組（当面の対応ができている課題）【富山県】
○手荷物配送サービスに係る取組　【新潟市】
○手荷物預かり機能に係る取組　【金沢駅】
○道路空間の賑わい創出に係る取組　【石川県】

連絡先：北陸信越運輸局 観光部　宮﨑、眞島
TEL　０２５－２８５－９１８１
北陸地方整備局 企画部　吉田、安達
TEL　０２５－３７０－６６８７

貸切バス確保に係る取組

国土交通省

４月～６月の立山黒部アルペンルート繁忙期における外国人団体観光客用貸切バスの確保が、平成２６年4月から困難となっている。このため、富山県では、海外でのセールスコールなど機会を捉えて現地旅行会社に対して早期のバス確保の呼びかけ等の取組を行った。

課題

市町村・地域：富山県

時期：４月～６月

- 立山黒部アルペンルートにおいて、毎年４～６月が繁忙期となっており、外国人団体観光客用貸切バスの確保が困難となっている。
- 平成27年3月には北陸新幹線開業に伴い、内外からの来訪者の増大が予想される。
- 外国人団体観光客用貸切バス等における受入体制の確保が必要。

取組の成果

(1)海外旅行会社への受入れ可能なバス会社の紹介

H27.3.5開催した、「北陸信越ブロックにおける訪日外国人受け入れにあたっての貸切バス及び宿泊施設の確保に関する連絡会」において、自治体、旅館・ホテル協会、バス協会など関係機関の連携について協議し、富山県と石川県の担当部局に、４県（新潟、長野、岐阜、福井）のバス協会はインバウンド受入れ可能な貸切バス会社リストを提供することとした。

(2)全日本シティホテル連盟加盟のホテルにおいて、インバウンドを受入れしているバス会社の紹介

(3)貸切バスの臨時営業区域の拡大

(4)海外でのセールスコール等において、現地旅行会社に、早期のバス確保の呼びかけ

以上の取組を行うことにより、大きな混乱を生じることはなく、当面の対応ができた。

取組方法

解決主体：関係自治体、関係団体

調整対象：関係自治体、関係団体

開始時期：H27.4.1

今後の方針

平成27年においては、大きな混乱を生じることはなく、当面の対応ができたが、今後、観光客の動向を注視しつつ以下により対応を図る。

○機会を捉えて現地旅行会社に対して早期のバス確保を呼びかける。

○会員リストの提供により、関係自治体・関係団体への情報提供を行い、スムーズな受入対応を図る。

○「訪日外国人旅行者向け貸切バスの需給状況を踏まえた臨時営業区域の設定について」の措置について恒久化及びさらなる臨時営業区域の拡大を関係機関に働きかけていく。

手荷物配送サービスに係る取組

国土交通省

新潟市では手荷物配送サービスを平成２６年２月より実施しているが、多言語表記の周知用リーフレットが未整備であった。このため、周知用の資料（6言語）を作成し、新潟駅観光案内所窓口に配置したほか、新潟観光コンベンション協会のホームページにおいて、多言語（6言語）表記のコンテンツを掲載した。

課題

市町村・地域：新潟市

時期：平成26年2月以降

- 新潟市では手荷物配送サービスを平成２６年２月より実施しているが、多言語表記の周知用リーフレットが未整備であった。
- 外国人旅行者が増加している中、利便性の向上を図るため、手荷物配送サービスに係る対応において、多言語対応が必要。

取組の成果

- 新潟市では周知用の資料（6言語）を作成し、新潟駅観光案内所窓口に配置した。
- 新潟観光コンベンション協会のホームページにおいて、多言語（6言語）表記の“新潟駅から「手ぶらで観光」”（下図）を掲載し、ＰＲを図っている。

取組方法

解決主体：新潟市

調整対象：観光案内所

開始時期：Ｈ２７．３月末

今後の方針：

○手荷物配送サービスについて、周知用の資料（6言語）や新潟観光コンベンション協会のホームページ掲載の“新潟駅から「手ぶらで観光」”により、ＰＲに努める。

手荷物預かり機能に係る取組

国土交通省

金沢駅では北陸新幹線開業後、想定を上回る駅利用者の増加に伴い、コインロッカーが不足しているとの意見が多く寄せられていた。このため、JR西日本は臨時手荷物預り所の開設やコインロッカーの増設により対応を図った。

課題

市町村・地域：金沢駅

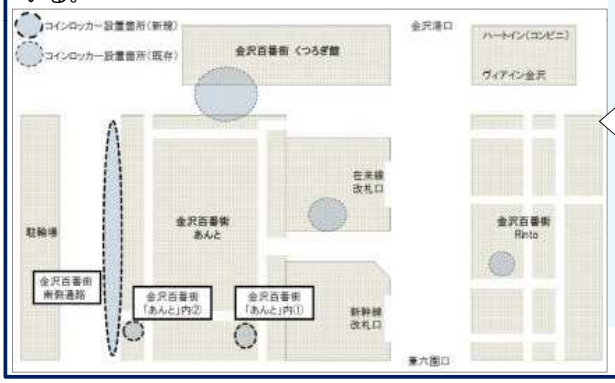
時期：北陸新幹線開業後　H27.3.14~

- 金沢駅において、北陸新幹線開業後、駅利用者から、コインロッカーが不足しているとの意見が多く寄せられていた。
- 入込客の増加に加え、旅行者の手荷物の大型化等により、駅における手荷物預り機能の充実が必要。

取組の成果

- 開業以降、週末等に臨時手荷物預り所を開設した。
- 駅利用者の利便性を考慮し、駅ビル内等に新たに３箇所コインロッカーを設置した。
- 増設数　４８６口（大９４、中170、小222）
  既設数　５１２口（大７６、中171、小265）
  合　計　９９８口（大170、中341、小487）

以上の対応により、ロッカー不足の状況はほぼ解消している。



金沢駅
コインロッカー配置図

取組方法

解決主体：ＪＲ西日本
　　石川県、金沢市

調整対象：

開始時期

：H27.3～臨時荷物預り所設置

：H27.5～コインロッカー増設（H27.7増設完了）

今後の方針：
○入込観光客の動向と各コインロッカーの需給バランスの把握に努め、観光客への案内等、適切な対応に心掛ける。

道路空間の賑わい創出に係る取組

国土交通省

石川県では、世界農業遺産に登録された「能登の里山里海」景観や「霊峰白山と手取峡谷」の眺望など、魅力あるいしかわの風景を楽しみながら、ゆっくりと周遊するための小規模な休憩施設として、駐車スペースや観光案内板を設置した「寄り道パーキング」の整備を進めている。

地域住民と交流できる「おもてなしのみち」をコンセプトに、地域の観光交流拡大に寄与することを目的としており、一部では地域住民による特産品の販売も実施されている。

課題

市町村・地域：　石川県内

- 観光交流拡大に向け、道路空間の賑わいの創出等を図る。

取組の成果

寄り道パーキング「宝達山」（H27.8完成）

駐車場

展望デッキ

寄り道パーキングについては、当初、北陸新幹線金沢開業までに20箇所を整備する計画で進めてきたが、多くの方々に利用され、好評を博していたことから、H26年度に11箇所を追加し、合計31箇所を整備する計画で進めている。

H26年度までに25箇所の整備が完了し、残る6箇所についても今年度中に完成する予定である。これにより、３１箇所全てが完成する予定。なお、年末までに、寄り道パーキング「宝達山」、「川北大橋」の2箇所が完成している。

今後の方針
○地元の自治体と住民が一体となって地域資源の活用・保全を図り、観光交流の拡大に努めていく。